



2025年度 須磨学園中学校入学試験

国 語

第 1 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
3. 解答は、1行の枠内に2行以上書いてはいけません。また、字数制限のある問題については、記号や句読点も1字と数えることとします。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

須磨学園中学校

□ 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

皆さんは、自分の「友達」がどんな人ならいいと思いますか？
私は子どもの頃、同じものが好きで、二た考え方の「気の合う子」がいいな、と思っていました。これが好き、これが嫌い、と言うと、「わかるわかる」と頷いてくれて、つらいことがあると、「大変だったね」と言ってくれるような子です。

小学五年生の時のことでした。遠足でグループ分けをし、私は普段はそこまで仲良くない子たちと同じグループになりました。すると、お弁当の時間、あるクラスメートの陰口が始まりました。私はその子をよく知らなかったのですが、「そんなだ」と相づちを打って、話を聞いていました。

皆さんにも、こういうことはとてもよくあると思います。たとえ知らない子のことでも、「そんなだ」と頷くことで、他の子たちとの距離が一気にチヂまる。

自分が本当はどう思っているかなんて二の次で、その場で「浮かない」ことが一番いい。私はそう思っていました。

すると、ある一人の女の子が、すっとシートを立ちました。いつの間にかお弁当を食べ終え、「先に行くね」と笑って、どこかに行ってしまったのです。驚いたのが、彼女の立ち方がさりげなかったことでした。怒ったり悲しそうにしたり、というわけではなく、本当に何か用事でもあるような雰囲気^Cで、私はあわてて自分もお弁当を食べ、その子を追いかけました。

話しかける時、緊張^{きんちょう}しました。その子が、陰口を言っていた他の子たちのことを悪く言ったらどうしよう。「ああいうのって嫌だよね」とか「ユルせない」とその子が言ったなら、頷いていた自分もみんなと同じだ、と思っただけです。

しかし、彼女は笑顔のままでした。遠足の終わり頃^{ころ}になってようやくぼつりと「昔、すごく後悔^{こうかい}したことがあって」と教えてくれました。「それから、ああいう時は絶対に離れようって決めるんだ」と。具体的に、それがどんな後悔だったのか、その子はそれ以上何も言いませんでした。言わないことで、それぐらい大きな後悔だったんだろうということが逆に強く伝わり、私はその子と友達になりたいと思いました。自分と違う考え方、私とは違う言葉を持っているからこそ、そう思っただけです。

みんなが「そうだよ」と頷いているところに、一人だけ「違う」というのは、とても勇気があることです。大人たちはよく、子どもに対して「そういう時も立ち向かうことが正しい」と教えます。「周りに流されることはない」と。

だけど、実は、こういう場面は大人の世界にもよくあって、しばしば「同調圧力」という言葉で語られるほどです。立ち向かうのは、大人でもムスカしい。それなのに、子どものあなたに「そ

うしなさい」と教えてしまうのはおかしい話ですが、だけど、どうか、大人が教えるその「正しさ」を一度のみ込んだうえで、皆さんには、いろんな場面を通じて、自分なりの考え方、それが嫌だと思っただけの向き合い方を探してみたいです。「大人に言われたから」ではなく、自分で出会い、見つけたからこそ、「自分の言葉」にしていける考え方がきっとあります。

「声を上げてみんなを止める勇気」もあれば、「穏やかに席を立って離れる勇気」もある。私にそれを教えてくれた子は、クラスで一番優しく、卒業する頃には、みんな彼女にだけは誰の悪口も言わないようになっていました。それは、その子が嫌がるから、というわけではなく、みんながジハツ的に「この子に軽蔑されたくない」と思っていたからだった気がします。

皆さんもクラス替えや習い事など、新しい環境に飛び込むことに新たな出会いがたくさんあると思います。新しい子と友達になったり、これまで仲良くしていた子の知らなかった一面を見つれたり。「他者との出会い」、どうか楽しんでね！

(辻村深月『あなたの言葉を』による)

一 設問

問一 ……線部①～④の外来語の意味を()の字数のひらがなで言い換えた際、①～④のすべての答えをそれぞれ一字以上組み合わせることができる、ひらがな五字の食べ物を答えなさい。なお、小さい「っ」「ゃ」なども一字と数えるものとします。

- ① グループ (五字)
- ② クラスメイト (七字)
- ③ シート (四字)
- ④ クラス (五字)

問二 ……線部α・βの本文中の意味として最も適当なものを、次の各群の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

- α 二の次
- 1 一番目
 - 2 二番目
 - 3 三番目
 - 4 最後

- β のみ込んだ
- 1 理解した
 - 2 我慢した
 - 3 実践した
 - 4 超越した

問三 「『そうなんだ』と相づちを打って、話を聞いていました」(——線部A)とありますが、ここで「私」が思っていたことについての説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 あまり知らない子であったとしても、友達である以上は、気の合う子であるはずだということ。
- 2 周りが普段そこまで仲良くない子たちだったので、同調して、一気に仲良くなりたいたいということ。
- 3 自分の本心を口にせず、その場にいる周りの子たちを思いやるのが、本当の友達だということ。
- 4 周りの子たちとの人間関係が大事であって、仲間はずれにならないことが最も良いということ。

問四 「どこかに行ってしまった」(——線部B)とありますが、それはなぜですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 友達を嫌いになりたくなかったから。
- 2 過去に、悪いと思うことがあったから。
- 3 周りを心配させたくないと思ったから。
- 4 忘れていた用事を突然思い出したから。

問五 「私はあわてて自分もお弁当を食べ」(——線部C)とありますが、「私」はなぜ「あわて」たのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 悪気なく、どこかに行ってしまった女の子を連れ戻さないと、次にその女の子への陰口が始まると思ったから。
- 2 陰口で盛り上がるグループの子たちに対し、正義感のある行動ができる女の子と友達になりたいと思ったから。
- 3 周りと違う言動を控えていた「私」は、さりげなく一人でその場を去った女の子の行動に、びっくりしたから。
- 4 周りの子たちから浮いても構わないと、勇気ある行動をした女の子に驚いて、軽蔑されたくないと思ったから。

問六 「頷いていた自分もみんなと同じだ、と思った」(——線部D)とありますが、どういう点から「同じ」になるのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 陰口を言う子たちの考えを、間接的に支持している点。
- 2 よく知らない子に対して、勝手な印象を抱いている点。
- 3 グループになって、一人の子を傷つけているという点。
- 4 陰口が嫌いな女の子の気持ちを無視しているという点。

設問は、裏面に続きます。

問七 「私はその子と友達になりたいと思いました」(——線部E)とありますが、これまでの本文の内容を踏まえると、どのようなことですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「私」は、趣味や考えが同じ子ではなく、自分とは違う考え方や言葉を持つ子と友達になりたいと思ったということ。
- 2 「私」は、陰口を言うことに消極的で、陰口を言うグループとは距離を置く子と友達になりたいと思ったということ。
- 3 「私」は、かつて陰口を言って友達を傷つけたことを、今でも後悔している子と友達になりたいと思ったということ。
- 4 「私」は、周りに同調しがちな自分と違い、一人でも勇気ある行動ができる子と友達になりたいと思ったということ。

問八 本文全体の内容に照らした場合、「私にそれを教えてくれた子」(——線部F)の話題を通して、筆者はどういうことを言っているのですか。次の条件1～3をすべて満たすように答えなさい。

- 条件1 必ず二つの文に分けて、全体を二〇〇字以上二二〇字以内で書くこと(句読点や記号は一字と数えます)。
- 条件2 一文目は、必ず「確かに、」で始め、大人の教えを踏まえて書くこと。
- 条件3 二文目は、必ず「その教えを踏まえた上で、」で始め、筆者が言っていることを踏まえて書くこと。

下書き用(※これは解答用紙ではありません)

120		100		80		60		40		20

問九 ゜~~~~線部a eのカタカナに相当する漢字を楷書で書きなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| a ニ(た) | b チヂ(まる) |
| c ユル(せない) | d ムズカ(しい) |
| e ジハツ | |

問十 次に示すのは、授業で本文を読んだ後の、生徒たちによる話し合いの様子です。これを読んで、本文の内容を踏まえた意見として、適当なものはT、適当でないものはFと、それぞれアルファベットで答えなさい。

- 1 生徒A——本文の構成として、前半が友達、後半が勇気を話題にした話だと、まとめられるかな。
- 2 生徒B——そうだね。友達については、気の合う人とは友達にならない方がいいと言っているよ。
- 3 生徒C——反対に、自分とは違う考え方や言葉を持つ人と友達になれば自分の世界も広がるだろうね。
- 4 生徒D——同じ価値観を持つ人が二人いれば、大人の世界で同調圧力が生まれるようだね。
- 5 生徒E——同調圧力を気にするあまり、人と違うことをする人に対して、陰口を言ってしまうのかな。
- 6 生徒F——反対に、互いの考えを尊重できる、自立した関係になれば、居心地もいだろうね。

二

次の詩（これより後では本文と表記する）は、西尾勝彦「場末にて」の全文です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

いつも
どこでも
場末に追い込まれるのが
これまでの
あなたの
道のり

あなたは
笑いながら
困った顔をして
ずっと
むりなく
はしっこの方
すみっこの方で
生きてきました
地図に

美しい蝶の X 地を見つけて
あなたは
初夏の林の中を
さまよい歩いていました
何も^A
見つからなかったでしょう
あなたは
そんな場所にいきただけ
いつも
どこでも
場末に辿り着いてしまうのが
これからの
あなたの
遠い
道のり

あなたは
自らの欠落と
他者からのさげすみに
気づきもせず
場末を生み出してきました
この先も^B
あなたの感覚は
外れたまま
閉じたままなのでしよう
にもかかわらず
あなたの見いだした
やすらぎの蔭は
いくたりかの人を
ふかく
慰めてきました

もちろん
場末の結論は
失われることにあります
あなた
一代限りです
稀少な黄昏も^b
秘匿の楽園も^注
剥がれるように
燃え尽きるように
消えてゆきます

その日まで
場末を Y ことが
あなたの
永く
あざやかな
道のり

注 秘匿：秘密にして隠しておくこと。

Ⅱの設問

問一

~~~~線部 a・b の本文中での意味として最も適当なものを、次の各群の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

a さげすみ

- 1 感情的にひどく嫌い、相手の悪口を言うこと。
- 2 自分より劣ったものとして、他を軽蔑すること。
- 3 自分の評価を上げるために、他を貶めること。
- 4 相手に対する嫌悪感を、露骨にあらわすこと。
- 5 相手の欠点を取り上げて、過剰に責めること。

b 黄昏

- 1 周囲がはっきりと見えなくなる薄暗い夕暮れ。
- 2 物事が順調に進み、その余韻に浸っているとき。
- 3 雨があがったあとの雲一つないきれいな空。
- 4 自分という存在を不思議に思い、考えるとき。
- 5 思う存分に羽を伸ばすことができる秘密の場所。

問二 次の文章は、詩の分類について述べたものです。文中の

Ⅰ Ⅱ Ⅲ に入る言葉として最も適当なものを、後

の【選択肢】の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。なお、選択肢はそれぞれ一回ずつしか使いません。

本文は内容の側面から見ると Ⅰ であり、用語の側面から見ると Ⅱ である。また、形式の側面から見ると Ⅲ である。

【選択肢】

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 口語詩 | 2 文語詩 |
| 3 自由詩 | 4 定型詩 |
| 5 散文詩 | 6 叙事詩 |
| 7 叙情詩 | 8 叙景詩 |

問三 本文から客観的に推測できることとして適当なものを、次の中からすべて選び、番号で答えなさい。

- 1 本文の読者は安心感を得ることが出来る。
- 2 本文の言葉は男性によって語られたものである。
- 3 「あなた」は物事を悲観的に見る性格である。
- 4 「あなた」は眼前にいる詩の読者を指している。
- 5 「場末」とは明確に定まった場所ではない。
- 6 「場末」に助けられた人数は単数ではない。

問四

本文中の X にあてはまる言葉を考え、漢字二字で答えなさい。なお、解答の言葉をひらがなにした場合の字数は四字です。

問五

「何も／見つからなかったでしょう」(——線部 A)とありますが、筆者がそのようなように言うのはなぜですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「あなた」が見たとしている地図は、実際には存在しない空想上のものだと考えているから。
- 2 「あなた」が林を訪れた八月初旬には、アゲハ蝶はすでに死んでしまっていると知っているから。
- 3 「あなた」の本当の目的は、場末で待っている人を慰めてあげることだと知っているから。
- 4 「あなた」には、美しい生物を絶対に発見したいという強い気持ちがあったと考えているから。

問六

「あなたの感覚は／外れたまま／閉じたままなのでしよう」(——線部 B) についての説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「あなたの感覚」によって生み出された「場末」は、今後もずっと存在するものである。
- 2 「場末」が存在することによって、「あなたの感覚は／外れたまま／閉じたまま」になってしまう。
- 3 「やすらぎの蔭」が見いだされている場合、「あなたの感覚は／外れたまま／閉じたまま」の状態であるといえる。
- 4 「外れたまま」は「自らの欠落」と、「閉じたまま」は「他者からのさげすみ」とそれぞれ対応している。

設問は、裏面に続きます。

問七 次の示すのは、本文の第一連と第三連に着目した生徒たちによる話し合いの様子です。発言の内容として適当なものはT、適当でないものはFと、それぞれアルファベットで答えなさい。

- 1 生徒A — 第一連と第三連の内容は完全に「一緒」というわけではないけれど、語の配列や行の構成は完全に一致しているから、対応した段落だと言えるね。
- 2 生徒B — 内容について見てみると、「場末」を避けがたいものとして表現しているところが、共通しているね。
- 3 生徒C — 他には、「現在」と「未来」という時間軸に着目した対比が表現されているのも詩から読み取れるね。
- 4 生徒D — この二つの連だけに着目すると、「場末」は肯定的な評価を受けていないということがわかるね。
- 5 生徒E — みんなの分析や発言は、すべての的を射たものだったね。今日の話し合いを通して、詩は内容だけではなく、様々な側面から考えることが大切だということを学べたよ。

問八 次の【資料】は「まもる」とよむことができる漢字の使い分けについて述べたものです。【資料】の内容を踏まえたうえで、本文（「場末にて」）中のYに入る言葉として最も適当なものを、後の【選択肢】の中から一つ選び、番号で答えなさい。なお、【資料】は田満字二郎『漢字の使い分けときあかし辞典』から一部抜粋したものです。

【資料】

《守》は、建物を表す部首「宀（うかんむり）」の漢字。もともとは、異変が起きないように建物を見張ることを表し、広く、異変が起きないように気を付ける」という意味で使われる。

日本語の「まもる」を漢字で書き表す場合には、《守》さえ使っておけば、十分に用は足りる。ただし、「まもる」と訓読みする漢字には、《守》のほかに《護》《衛》もある。「守護」「守衛」「護衛」という熟語があるように、この三つの漢字は意味がよくにているが、それぞれのニュアンスを生かして使い分けられる。

まず《護》は、「愛護」「保護」「護身術」など、大切なものに危険が及ばないようにする」という意味。「まもる」と訓読みして用いると、対象となるものが、とても大切である」というニュアンスが強調できる。

《衛》は、定位置から離れないで「まもる」ところに、特色がある。「自衛」でも、自分がある場所という、決まった場所から離れることはありえない。

【選択肢】

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 守りつづけた | 2 守りつづける |
| 3 護りつづけた | 4 護りつづける |
| 5 衛りつづけた | 6 衛りつづける |

設問は、次の用紙に続きます。

問九 本文の表現の説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 第一連では、「あなたの／道のり」と省略法が用いられ、「これまでの／あなた」のあり方が明らかにされている。
- 2 第二連の末尾まつひの部分では、倒置法とうちほうが用いられ、蝶を探した「あなた」の結末が印象づけられている。
- 3 第二連では、「はしっこの方／すみっこの方」と反復法が用いられ、「あなた」が「場末」で生きてきたことが強調されている。
- 4 第五連では、「あなた／一代限りです」と呼びかけが用いられ、読者に当事者意識を与えている。
- 5 第五連では「剥がれるように／燃え尽きるように」と直喩ちよくめが用いられ、明るい未来が鮮やかに描えがかれている。

↓ここにシールを貼ってください↓

|      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |
|      |  |  |  |

|    |  |
|----|--|
| 名前 |  |
|----|--|

2025年度 須磨学園中学校 第1回入学試験解答用紙 国語

|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|-----|--|-----|--|----|--|----|--|----|----|
| ※   |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
| 問八  |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
|     |  |     |  |    |  |    |  |    |    |
| 120 |  | 100 |  | 80 |  | 60 |  | 40 | 20 |

|   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ※ | 問七 | ※ | 問五 | ※ | 問三 | ※ | 問二 | ※ | 問一 |
|   |    |   |    |   |    |   | a  |   |    |
|   |    |   | 問六 |   | 問四 |   | β  |   |    |

（※の欄には、何も記入してはいけません）

一

|   |    |   |    |   |    |   |    |   |     |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|-----|---|----|
| ※ | 問八 | ※ | 問七 | ※ | 問五 | ※ | 問三 | ※ | 問二  | ※ | 問一 |
|   |    |   | 4  | 1 |    |   |    |   | I   |   | a  |
|   |    |   | 5  | 2 |    |   |    |   | II  |   | b  |
|   | 問九 |   |    |   |    |   | 問四 |   | III |   |    |
|   |    |   |    | 3 |    |   |    |   |     |   |    |

（※の欄には、何も記入してはいけません）

二

|   |    |   |    |       |      |
|---|----|---|----|-------|------|
| ※ | 問十 | ※ | 問九 |       |      |
|   | 4  | 1 | e  | c     | a    |
|   | 5  | 2 |    | (せない) | (た)  |
|   |    |   |    | d     | b    |
|   | 6  | 3 |    | (しい)  | (まる) |



2025SUMAJ0110

※

※

※